

Easy Core
ユーザーマニュアル&部品表

モデル:

製造番号:



注意

機械を安全に使用して機能を最大限にご活用いただくために、Easy Core を使用する前にはユーザーマニュアルをよくお読みください。

はじめに

Easy Core をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を長期間にわたって安全にご使用いただくために、本書を読んで理解していただくようお願いいたします。

本書の内容をよく理解していないと、機械を安全に使用できません。

以降のページでは、まず一般的な安全注意事項を説明します。この注意事項は必ず理解、遵守してください。その後には登録カードを掲載しています。今後の保証が受けられるよう、この登録カードを郵便にてご返送ください。

本書の中では、手順が番号順に記載されています。

作業を行うときは、この順序に従ってください。(⚠)マークは安全注意事項を表します。(👉)マークはヒントや参考情報を示します。

保証条件

本機には不具合に対する保証が付いています。

この保証は購入日から12ヶ月間有効です。

本機の保証は、国際連合欧州委員会の指示のもと発行された「輸出用設備機械の供給に関する一般条件 No.188」に準拠しています。

登録カード

備忘録として下記にご記入ください。

機械の製造番号	
販売店名	
ご購入日	
備考	

安全規則



図 1

本機は、本書に記載された安全注意事項が正しく守られることを前提として、安全に使用できるよう設計されています。
機械を使用する前に、本書を読んで理解してください(図 1)。
マニュアルの指示どおりに機械を使用しないと、負傷事故や機械への損傷が起こるおそれがあります。

- 1) 本機を熟知した上でご使用ください。

弊社は、不適切な使用やそれが原因で生じた損害について責任を追いません。そのような状況で発生するリスクはすべて、ユーザーの責任になります。

不適切な使用には、メーカーが指定する使用方法、整備方法、修理方法などに従わないことも含まれます。

機械を使用する前に、作業するエリアを点検してください。

固定されていない障害物は取り除き、凸凹をなくしてください。

- 2) 本機は、安全に使用できるよう最新技術に基づいて製造されています。

本機を熟知していない人が機械を使用、整備、または修理すると、ユーザーや第三者が負傷することもあります。

本機を熟知していない人は機械を使用しないでください。

- 3) 所有者から機械を使用、整備、または修理するよう指示された方は、本書、特に「**安全規則**」の章をよく読んで理解してください。

Easy Core を安全に使用するのはユーザーの責任です。

- 4) ユーザーは、機械を使用する前に**損傷や不具合について目視点検する義務があります。**

安全性に影響するような機械(およびその動作)の改造が行われている場合は、直ちに修正してください。

機械の改造や部材の追加は、(メーカーが認定したものを除き)安全上の理由から基本的に禁止されています。

機械を**改造**すると CE 認証が無効になります。改造した本人が**自分で新たに CE 認証**を受けなければなりません。

使用する前にボルト、ナット、部品などの緩みがないか、機械を必ず点検してください。

油圧ホースが使用されている場合は定期的に点検し、損傷や劣化の兆候があれば交換してください。交換用ホースは、メーカーの技術要件に適合していなければなりません。

油圧装置が使用されている場合、その装置の作業を行うときは**必ず**最初に圧力を開放してください。

保護カバーと安全ラベルが紛失している場合は、**絶対に**機械を使用しないでください。

機械の下には**絶対に**潜り込まないでください。

必要であれば、機械を倒すことができます。

整備、設定および修理時には、機械が沈み込んだり、動き出したり、滑って移動したりしないよう機械を固定してください。

整備、設定、および修理時には、必ずエンジンを停止してスパークプラグからケーブルを切り離してください(図 2)。



図 2

機械と作業者の安全を確保するため、整備と修理には必ず純正部品を使用してください。
機械の修理は、認定技術者のみが行ってください。

修理記録は保管してください。

- 5) 本書の説明に加え、一般的に適用される規定や安全衛生上の規定にも従ってください。
機械を公道で使用する場合は、道路交通法の規定に従ってください。

本機による人の輸送は認められていません。

暗い場所、激しい雨や嵐、傾斜が 15° を超える斜面では機械を使用しないでください。

- 6) 作業を始める前に機械のすべての機能と操作機器について、機械の操作者全員に周知してください。

機械の両側および前後のカバーには、同じ内容の安全ラベルが貼り付けられています。これらの安全ラベルは常に明瞭で読みやすい状態に維持し、損傷した場合は交換してください。

作業中は、**保護具を着用していない人を機械の稼働エリアに入らせない**でください。可動部品による人身事故のおそれがあります(図 4)。

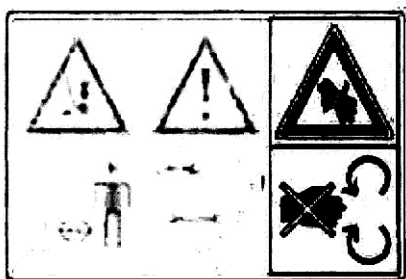


図 4

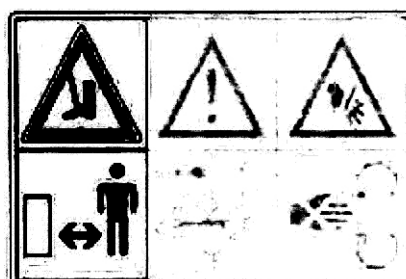


図 5

保護具を着用していない周囲の人から機械を 4 m 以上離してください(図 5)。

適した服装を心がけてください。つま先がスチール製の安全靴、長ズボンを着用し、長い髪はまとめ、だぶついた衣服は着用しないでください。

安全衛生上の法律や安全規定に従って、適切な保護具を使用してください。



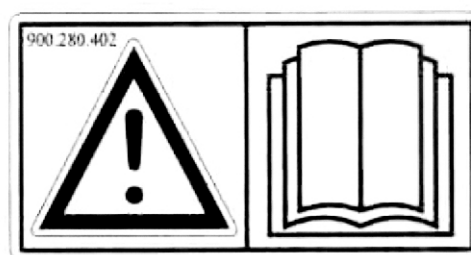
図 5

機械を使用するときは、認定された防音具を着用してください(図 6)。

7) 安全ラベル



911.280.402



900.280.402



911.340.410



900.280.404



917.340.400



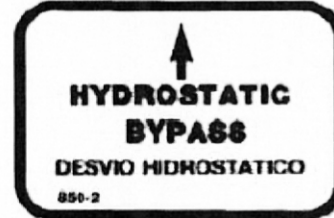
917.340.402



917.340.404 (208 only)



917.340.406 (208 only)



917.340.408 (208 only)

目次

はじめに	2
保証条件	2
登録カード	2
安全規則	3
1.0 テクニカルデータ	8
2.0 組立説明	9
3.0 操作方法	10
4.0 EU 宣言	11
5.0 整備	12

1.0 テクニカルデータ

モデル	104	106	108	208	116
エンジン	BUS, Briggs & Stratton 5.5 hp	ホンダ 5 hp	ホンダ 5 hp	ホンダ 5.5 hp	Kohler 12 hp
動作幅	360 mm	540 mm	520 mm	520 mm	1,100 mm
最大動作深さ	70 mm	70 mm	70 mm	70 mm	70 mm
穴間隔	90 × 150 mm	90 × 150 mm	65 × 170 mm	65 × 170 mm	65 × 170 mm
最大容量	2043 m ² /h	2550 m ² /h	2550 m ² /h	2780 m ² /h	7800 m ² /h
ピン数	4	6	8	8	16
標準中空ピン	22 × 16 × 70 mm	22 × 16 × 70 mm	22 × 16 × 70 mm	22 × 16 × 70 mm	22 × 16 × 70 mm
中空ピン (オプション)	16 × 9.5 × 70 mm	16 × 9.5 × 70 mm	16 × 9.5 × 70 mm	16 × 9.5 × 70 mm	16 × 9.5 × 70 mm
中実ピン (オプション)	9.5 × 70 mm 22 × 70 mm	9.5 × 70 mm 22 × 70 mm	9.5 × 70 mm 22 × 70 mm	9.5 × 70 mm 22 × 70 mm	9.5 × 70 mm 22 × 70 mm
動作寸法	1600 × 620 × 950 mm	1600 × 800 × 950 mm	1600 × 800 × 950 mm	850 × 1700 × 950 mm	1700 × 1440 × 850 mm
重量	94 kg	113 kg	136 kg	146 kg	326 kg
出荷寸法	1300 × 660 × 960 mm	1080 × 800 × 680 mm	1080 × 800 × 680 mm	1260 × 1050 × 890 mm	1600 × 1350 × 1,000 mm
出荷重量	115 kg	135 kg	145 kg	162 kg	367 kg
エンジンオイル	SAE 30	SAE 30	SAE 30	SAE 30	SAE 30
フットボード	なし	なし	なし	あり	なし

2.0 組立説明

イージーコア 104 の組立

操作ハンドル:折り畳み式操作ハンドルがあらかじめ取り付けられています。機械を使用するには、ハンドルを後向きにする必要があります。後向きにするには、まずハンドルリテーナーを後に引き、ハンドルを後方に回してください。次にリテーナーを元に戻して動作ハンドルをロック位置にします。操作ハンドルを運搬位置に戻すには、この手順を逆順に行います。

イージーコア 106 および 108 の組立:「3.0 操作方法」の図を参照してください。

操作ハンドル:操作ハンドルを、2本の飛び出したフレームピンに上から押しつけます。操作ハンドルが上を向きます。ロックピンを取り付けてロッククランプで固定するか、その他の方法でハンドルを固定します。

プルバックケーブル:両端が同じ形状の中実スチールワイヤーで、黒のプルバックプレートの片側に取り付けられています。これはあらかじめ取り付けられたものです。反対側は、中央ハンドル(No.1)に取り付けます。ロックピンとロッククランプを使って、ケーブルを取り付けてください。

カプラーフランジ:片側にヨークのついた中実ロッドです。機械からカバーを取り外し、右下側にある機械側ヨークを探します。ロッドを調整ナット位置までヨークにねじ込みます。(注記:左ねじなので、ロッドは反時計回りに回してください。)付属のロックピンとロッククランプを使用して、ロッドのヨーク側を下部ハンドル(No.2)に取り付けます。次に、両方のヨークをそれぞれ調整ナットで固定します。

イージーコア 208 の組立

操作ハンドル:操作ハンドルを、2本の飛び出したフレームピンに上から押しつけます。操作ハンドルが上を向きます。ロックピンを取り付けてロッククランプで固定するか、その他の方法でハンドルを固定します。

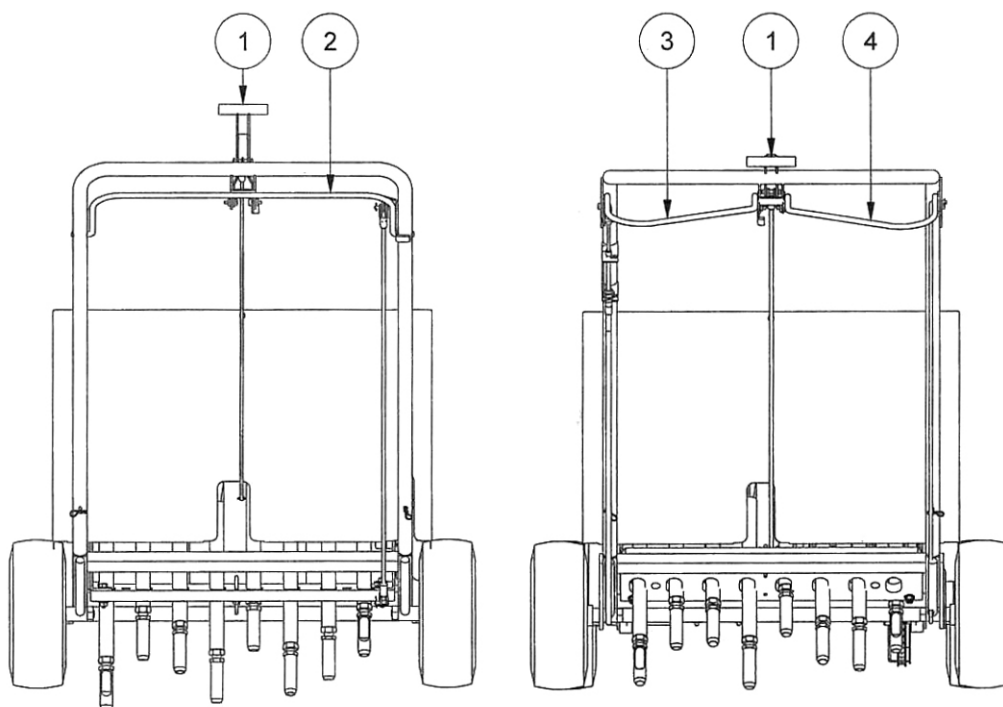
油圧装置コントロール:油圧装置は、左側ハンドル(No.3)で操作します。スプリットピンを取り外し、ケーブルのボールジョイントを取り付け、スプリットピンを再び取り付けます。アウターケーブルのナットを操作ハンドルに取り付けます。

プルバックケーブル:両端が同じ形状の中実スチールワイヤーで、黒のプルバックプレートの片側に取り付けられています。これはあらかじめ取り付けられたものです。反対側は、中央ハンドル(No.1)に取り付けます。ロックピンとスプリットピンを使って、ケーブルを取り付けてください。

カプラーフランジ:片側にボールジョイントのついた中実ロッドです。機械からカバーを取り外し、右下側にある機械側ボールを探します。機械の右下にあるボールにボールジョイントを取り付けます。ロッドの反対側をハンドル No.4 に取り付け、スプリットピンで固定します。

油圧装置:油圧装置はすべて点検済みで、すぐに使用できます。「Hydrostat Bypass(静圧装置バイパス)」というマークのある装置前部のハンドルを押すと、油圧装置が使えるようになります。

3.0 操作方法



イージーコア 104、106、108、208 の操作方法

下部ハンドル:下部ハンドル(2)で、V ベルト駆動装置のアイドルを操作します。作動させるには、ハンドルを引上げてください。機械を作動させる間はハンドルを引上げたままにします。離すと前進動作が停止します。離れたときにハンドルが元に戻らない場合は、安全性に大きな影響を与えるため、メーカーか販売店に修理を依頼してください。

中央ハンドル:中央ハンドル(1)は、機械のエアレーション機構を確実に動作位置へセットするものです。ハンドルを前方に動かしてください。エアレーション機構が自動的に動作位置に移動します。

エアレーション:下部ハンドル(2)を引き上げ、しっかり保持します。次に中央ハンドル(1)を前に動かし、エアレーション機構を動作位置に移動させます。動作し始めてすぐに機械を押さないでください。ピンの動きにより、自動で前進し始めます。

イージーコア 208 では、右側ハンドル(4)で V ベルト駆動装置を作動させます。エアレーション時には、左側ハンドル(3)を操作して機械を油圧により前進させます。エアレーションを停止するには、両方のハンドル(3 と 4)を離してください。

停止:停止するには下部ハンドルを離します。ハンドルが自動的に元に戻り、アイドルが停止します。エアレーション機構を地面から引き出すには、中央ハンドルを引き戻してください。機械の使用を止める場合は、エンジンを停止してください。

カバーの取り外し:カバーを取り外すには、中央のボルトとラバーホースを取り外します。カバーの取り付けは逆の手順で行います。

寒冷時の使用:エアレーション機構を 2 分以上上側位置にし、グリスを暖めてください。

イージーコア 116 の操作方法

- 引っ張りフックの長さを調整し、角を曲がる時も牽引する車が装置に接触しないようにします。
- 操作ボックスを車の操作しやすい位置に取り付けます。
- ワイヤーが使用中に引っかかったり伸びたりしないよう調整します。
- エンジンを始動し、全速で回転させます。
- 機械を立てた状態にしてエアレーションを行う場所まで移動します。
- 機械を下がらない位置まで下げます。
- エアレーション機構を作動させる前に、牽引車を前進させてください。
- 3~5 km/h の速度で前進させます。
- エアレーション機構を作動させ、緑のライトが常時点灯するよう速度を調整します。
- 赤色の「fast(高速警告)」ライトが点灯したら減速してください。
- 赤色の「slow(低速警告)」ライトが転倒したら加速してください。(低速のままだと、機械と土壌を痛めます。)
- エアレーション中も緩やかに進行方向を変えることができます。
- 急な旋回をする時は、エアレーション機構を停止して地面から持ち上げてください。

4.0 EU 宣言

本製品、つまり

機械およびマニュアルに表示された機械番号を持つ Easy Core は、
NEN-EN-ISO 12100-1、NEN-EN-ISO 12100-2 および NEN-EN 294 の各規格に準拠し、機械指令 98/37/EC の規定に従っていることを証する。

A.C. Bos
業務調達本部長
Redexim Holland

5.0 整備

モデル	時期	点検箇所／注油箇所	方法
全モデル		エンジン／オイルフィルター	エンジンメーカーの指示に従いますが、オイルとフィルターは少なくとも年に1度は交換してください。
104 106 108	操作前	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - 安全ラベルの有無および判読できるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 紛失／損傷しているラベルを交換します。
	10 作動時間ごと	<ul style="list-style-type: none"> - V ベルトの張り点検 - ボルト／ナットの緩み点検 - カムベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じてVベルトの張りを調整します。 - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - EP2を2噴射分。
	100 作動時間ごとまたは年1回	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - ロールベアリングと駆動系の点検 - V ベルトの張りと摩耗の点検 - スピンドルとホイールベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 必要に応じて交換します。 - 必要に応じてVベルトの張りを調整します。 - または必要に応じてVベルトを交換します。 - EP2を2噴射分。
208	操作前	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - 安全ラベルの有無および判読できるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 紛失／損傷しているラベルを交換します。
	10 作動時間ごと	<ul style="list-style-type: none"> - V ベルトの張り点検 - ボルト／ナットの緩み点検 - カムベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じてVベルトの張りを調整します。 - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - EP2を2噴射分。
	20 作動時間ごと	<ul style="list-style-type: none"> - 油圧駆動装置のベアリングに注油します。ベアリングはカップリングベルトの隣にあります。 - フロントホイールスピンドルに注油します。 	<ul style="list-style-type: none"> - EP2を2噴射分。 - EP2を2噴射分。
	100 作動時間ごとまたは年1回	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - ロールベアリングと駆動系の点検 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 必要に応じて交換します。

		<ul style="list-style-type: none"> - V ベルトの張りとも摩耗の点検 - スピンドルとホイールベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じてVベルトの張りを調整します。 - または必要に応じてVベルトを交換します。 - EP2を2噴射分。
116	操作前	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - 安全ラベルの有無および判読できるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 紛失／損傷しているラベルを交換します。
	10 作動時間ごと	<ul style="list-style-type: none"> - ロールベアリングと駆動系の点検 - チェーンの張りの点検 - ボルト／ナットの緩み点検 - カムベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じて交換します。 - 必要に応じてチェーンの張りを点検します。 - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - EP2を2噴射分。
	100 作動時間ごとまたは年 1 回	<ul style="list-style-type: none"> - ボルト／ナットの緩み点検 - ロールベアリングと駆動系の点検 - チェーンの張りとも摩耗の点検 - チェーンの注油 - スピンドルとホイールベアリングの注油 	<ul style="list-style-type: none"> - 緩んだボルト／ナットを締め付けます。 - 必要に応じて交換します。 - 必要に応じてチェーンの張りを調整します。 - または必要に応じてチェーンを交換します。 - 汎用チェーングリスを使用します。 - EP2を2噴射分。

整備に関する一般的注意

V ベルトの張り:カップリングの回転ハンドル内側にある調整穴を利用して、V ベルトの張りを調整してください。すぐ隣の穴に移動させるだけで十分なはずですが、ベルトの張りを強くしすぎないでください。エンジンのスピンドルベアリングに過大な負荷がかかるおそれがあります。動作中にVベルトがスリップしなければ、張りは十分です。

チェーンの張り(イージーコア 116 のみ):エンジンプレート内側の穴を利用してチェーンの張りを調整してください。チェーンを張りすぎないでください。エンジンのギヤボックスベアリングに過大な負荷がかかるおそれがあります。動作中にチェーンが緩まなければ、張りは十分です。

ピン:これらは調整可能ですが、最大調整幅は調整ナットの厚み分(約 6.5 mm)だけです。ピンの開口部は必ず機械の後部へ向けてください。ピンの交換は、調整ナットを緩めた後にピンを緩めれば行えます。新品のピンを調整ナットで取り付けます。ピンは、ピンホルダーの奥までねじ込んでください。その後、ピンホルダーに調整ナットを締め付けます。

 エンジンの整備は、付属のエンジンマニュアルを参照してください。